



外国出張報告書

平成 26 年 3 月 31 日

1. 出張国名 タイ、ラオス、フィリピン
2. 出張月 平成 25 年 11～12 月
3. 出張目的 総合防除 I に関する調査研究及び研究打合せ : B
 アジア原子力協力フォーラム (FNCA) バイオ肥料ワークショップ参加

4. 成果の概要

多用途型サトウキビの乾燥等の不利条件への適応性を解明し、白葉病の被害を低減して株出し年限を延長する肥培管理法を開発する事を目標に、研究を進めている。タイ国コンケンでは、共同研究機関であるタイ農業局コンケン畑作物研究センターおよびコンケン大学農学部とプロジェクト推進のための打ち合わせを行い、プロジェクト成果検討会を開催した。多用途型サトウキビ有望系統の収量性を調べるためのマルチサイト圃場試験および株出し増収のための栽培技術の検討を行っている株出し処理圃場試験の収穫調査を行い、気象と土壌水分のデータを回収し、植物体の養分分析用のサンプルを採取し、地下水位を測定する体制を整えた。

フィリピン・ロスバニョス市にて開催された、アジア原子力協力フォーラム (FNCA) のFNCAバイオ肥料ワークショップに参加し、バイオ肥料の利用とバイオ肥料資材製造における原子力利用に関して討議した。オープンセミナーで、「島嶼の環境を保全するための適切な農法」と題した講演を行った。